

**2020年3月期 第3四半期
決算発表 質疑応答**

(受注について)

Q1. 当第3四半期(2020年3月期第3四半期)のキャンセル率は28.6%(前年同期比+6.4p)となっておりますが、キャンセルの要因を教えてください。(決算説明資料 p17)

A1. キャンセルの要因に関しては個々の事情があり一概には言えませんが、主な要因として、昨今の融資基準の厳格化によって、金融機関から自己資金の増額や担保の追加などを求められ、キャンセルになるお客様が増加していることがあります。その他、サブリースに関するネガティブ報道等を受けて、お客様の心の变化やご家族の反対によるキャンセルも一定数あります。

(通期見通しについて)

Q2. 当第3四半期(2020年3月期第3四半期)は減収減益の決算発表となりましたが、通期計画に変更がありませんでした。その背景と今後の見通しを教えてください。(決算説明資料 p3)

A2. 通期計画を変更しない理由は3点です。

1点目は、第3四半期以降着工戸数が前期比プラスで推移しており、完成工事高の増加が見込めること。2点目は、不動産事業が高い入居率を背景に好調に推移しており、計画以上の増益が見込めること。3点目は、人件費、広告宣伝費をはじめとした販管費が計画以下で推移していること。以上を踏まえ、通期計画は達成できる見通しです。

(営業外収益について)

Q3. 四半期連結損益計算書の営業外収益に「持分法による投資利益」で6億85百万円が計上されておりますが、その内訳を教えてください。(決算短信 p6)

A3. 医療事務受託・介護・保育事業を行う㈱ソラストなどの持分法適用会社の損益の合計となっております。

(その他について)

Q 4. 一部企業ではオリンピック・パラリンピック期間中の工事自粛要請を受けているとのことですが、事業活動への影響はありますか。

A 4. オリンピック・パラリンピック期間中の交通混雑の影響のあるエリアについては、テレワークや時差出勤で対応していくことを検討しております。また、工事については自粛要請を受けた場合は、要請に基づいた対応する予定です。

Q 5. 住宅金融支援機構の2次融資を行っている大東ファイナンスの営業貸付金が増加しています。債権の売却や証券化等は検討していますか。

A 5. 現時点で具体的なスキームは決定していませんが、債権の買取や証券化のニーズはあると認識しておりますので、引き続き検討してまいります。

以上